

ノースボルト

資金調達で事業は継続

生産能力は年産1GWh程度で、早期に年産60GWh（EV換算で100万台以上）まで拡張する方針だったが、事業の見直しによ

●LG化学
ミサトとMOU締結
リチウムを確保
LG化学、韓国ソウル市
は、米国の石油企業
あるエクソンモービル

ADEKA
とうるたま

522Wh/kg

リチウム硫黄電池

ADEKAは、リチウム硫黄電池を、軽量、高安全性、実用性を兼ね備えた次世代蓄電池と捉え、DOLBY、HAPS（成層圏通信）

月にBMWが20億
の注文をキャンセ
ル、逆風に見舞わ
れ、こうしたなか、
スウェーデン拠点
で1600人
(全世界の定

く、KISCO、産業技術総合研究所の協力を得て実施。集電体はKISCOとソフトバンクが共同開発した樹脂箔を採用したほか、セル設計はADEKAとTSCCが担当した。

TOL(電動垂直離着陸機)といった飛行体分野に最も
とじている。生産面では
相馬工場(福島県相馬市)
においてSPANの量産化
を進めており、現在までに
年産100機以上の台成

[illegible]

ADEKA
Add Goodness

加えて、満充電状態の試作セルに鉄釘を刺しても発煙・発火が起きないことを確認（実証はソフトバンク）

ADEKA
INCORPORATED
1-1-1, Higashi-Shinjyuku, Shinjyuku-Ku, Tokyo 162-8601, Japan
TEL: 03-3349-1111 FAX: 03-3349-1112
E-MAIL: adeka@adeka.co.jp

in cooperation with

ソフトバンク株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-2-1
TEL: 03-5561-0101 FAX: 03-5561-0102
E-MAIL: info@softbank.co.jp



国内PSC市場
40年度に1.5
用途や市場

(株)大野経済研究所(東京)
都野区は、次世代の太陽電池(PV)として注目されているペロブスカイト太陽電池(PSC)の国内市場動向を、将来展望を含めた。2040年度は

GW導入
物開拓が重要
矢野経済研究所調べ

1・5GW（新増導入量）
占める比率は19・5%、
50年度には3GW強の導
入を見込んでいる。

PSCの本格量産は早
ても28・29年度とみ
ており、矢野経済研究所

30年ほどでGW規模の量産
には必要ない。国で生産
体が急速に拡大して生
産しては、従来の倍の
コストを挙げ、

リコや海大製のDSC
の競争競争を激しく
当間は利益を確保が難し
いことを挙げる。

「FAPS
Cの選に
て重要な
イルコン
テイング
技術は日
本企業が
得意で
るが、付
加価値な
い」

積水化学工業のフルタイムPSC



弾として、少量の
溶液でPSSCの試
作が可能な塗布装
置「Perovskite
Jet」を開発し
た。

ちなみに、イン
クジェットの吐出
原理は大きくはピ
エゾ方式とサーマ
ル（バブル）方式
がある。ピエゾ方
式は電圧の印加で
体積が変化するピ
エゾ素子（圧電素

破損する懸念がある。そこで
 には、有機溶媒への耐性を高
 ぶべく、有機溶媒を用いたP
 Cの成膜は「最悪」(同社サ
 クニカル・エネルギーの堀端
 志氏)と語っている。

また、Perovskite
 には、有機溶媒への耐性を高
 めるための改良も加えた、バ
 ロブスカイト前駆体溶液の溶
 媒には、DMFが主溶媒、
 MFHとDMFの混合溶液
 として広く利用されている
 が、「もした有機溶媒は、タ
 ック性が高い(一般的ではな
 い)インクジェット」の形で
 破損する懸念がある。そこで

[illegible][illegible]

デジタルデータに基
づいた場所に必要な
形状形成が可能な
材料の使用効率や成
品の自由度が高く、非
凹凸のある基板が
形成できるなど、
点がある。この技術
はインク代わりに
カイトの液材料をノ
ズを押し出す小さ
なノズル射すること
で、ベイト層を大
面積に形成するこ
とができる。この
技術は数年
間ジェット技術の
開発装置の開
発にきたが、第

子)を用いてインクを吐出する
方法で、マイクロジェット
はピエゾ方式のインクジェット
技術を採用している。[1]
エソ方式(温度、電圧、バル
ス幅などのパラメータ)が多
く、最適化が難しいが、熱を
かけないため溶媒の揮発量が

ト技術を応用

[illegible]

「Add Goodness」

 高充電状態の試験を刺しても発煙しないこと、
 証はソフトバン

都陽さ本市

国内PSC市場
40年度に1.5GW
用途や市場開拓

【南経済研究所】東京155
野区は、次世代の太
PVCとして注目
のペロスカイト
(PSC)の国内
動向および将来を
め、2040年度は
1GWの薄層形成例

Perovskiteでは、
Perovskiteは金属

矢野建設研究所は
20年つづきつら
の作業量に早く
てい。
の作業量は早く
てい。
の作業量は早く
てい。

W（燐素）層に
（比は10：80）
は18GW強導入
が重要
矢野建設研究所へ

30年までにW炭の産
は国産を7割、国産で
は体制を整え、輸入に
とては、従来約3
（千トン）
リソフと外製のFC
の需要が伸びます。
の増産の備がけが
必要と見られる。

一、P
Cの型に
て設置
イルミネーション
ライティング
技術は本
業が根本
で、

付加価値を
上げる

積水化学工業のフィルム型OSC



Perovskiteは金属